

グループホームやまと 令和第3年第4回運営推進会議 報告書

開催日	令和3年11月16日(火) 14:00~15:00			
開催場所	グループホームやまと			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	1名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	1名	認知症の人と家族の会代表	1名
	元ご利用者家族	1名		
事業所出席者	施設長		介護課長	
	グループホーム管理者		相談員	
欠席者	ご利用者			

1. 利用状況報告について

令和3年11月10日 現在

入居者の状況	入居人数(18名) 男性(3名) 女性(15名)
	要介護1(7名) 要介護2(5名) 要介護3(2名)
	要介護4(4名) 要介護5(0名) 平均要介護度(2.2)
	年齢(平均85.6歳)(最若73歳)(最高96歳)

大山ユニット～要介護1(6名) 要介護2(2名) 要介護3(0名) 要介護4(1名)
要介護5(0名) 平均要介護度(1.6)

和みユニット～要介護1(1名) 要介護2(3名) 要介護3(2名) 要介護4(3名)
要介護5(0名) 平均要介護度(2.8)

2. ◆R3.9.11～R3.11.10：事故及びヒヤリハット報告と対応

内 容	件数	状 況
転 倒	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の声掛けに対し椅子から立ち上がる際ふらつき、椅子の足につまづいた可能性あり ⇒声掛けはご本人の近くまで行き声を掛け、見守りを行う。 ・居室にて車椅子に移ろうとして転倒 ⇒普段老人車を使用する方で体調が悪く車椅子を使用しそのまま居室内に置いており自分で移られ様とした環境の変化時は職員間で情報共有を行う。
誤 薬	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・名前の確認をせずに服薬する。⇒手順書の確認。 (新人職員に対する指導、職員間の情報共有の徹底)
皮下出血	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・内出血しやすい方で移乗時に移動バーの下の部分にあたり内出血になった可能性あり ⇒移乗介助方法の周知、移動バーの保護を行う。
離 設	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さんが一人で帰って来られた。 ⇒玄関センサーが鳴った際確認を行う、施錠等の声かけ確認を行

		う。
ずり落ち	1件	・居室内にて車椅子ブレーキのかけ忘れ。 ⇒訪室時ブレーキの確認、居室内において本人の意識が持てれる様に工夫する。
爪剥がれ	1件	・入浴時に足の爪が剥がれている事に気付く ⇒他のご利用者の方も全員1日1回足の確認を行う。爪切りの実施。
ヒヤリハット	27件	・バランスを崩される、立ち上がり時にふらつきがある、靴下、裸足のまま居室よりでてこられる、家族への連絡職員の情報共有が出来ていない、ベッドの高さなど共通認識、薬のセットミス、靴のサイズ、ナースコールを抜こうとされる、玄関の鍵が刺さったままになっていた、エアコンの元をベッドに上がり抜く、近所の犬に自分のおやつを食べさす、汚れた衣類がタンスに入っていた、電気が消していない等

3. 活動の状況 (R3.7.11~R3.9.10)

月日	内 容	状 況
9月中旬	作品作り	大山ご利用者
9月22日	手形アート・敬老会用	和みご利用者
9月27日	敬老会	両ユニットご利用者
10月1日	作品作り(リンゴときのこ)	大山ご利用者
10月24日	干し柿作り	両ユニットご利用者
10月27日	ご利用者様誕生日	和みご利用者
11月6日	干し芋作り	和みご利用者
その他	ドライブ	両ユニットご利用者
その他	ご家族様より秋の味覚の差し入れ 栗ご飯	
【定 期】	お好み弁当(月1回)	
	オレンジカフェ 中止	
	なでしこクラブ 中止	
	めだかクラブ 中止	
毎週水曜日	ボンジュールパン販売	配達のみ実施
毎月1日	散髪	(髪染めは職員が行う)

4. 研修等(職員)の状況 (R3.9.11~R3.11.10)

月日	内 容	備 考
9月13日	・ISOの理解と活用	新人職員
9月30日	・GH部会研修(地域密着型サービスの取組みについて)	全職員対象
	・救命講習	全職員対象
10月28日~ 11月12日	・認知症実践者研修	対象職員
10月28・29日	・認知症対応型サービス事業管理者研修	対象職員

※今後の予定

- 11月20～30日・・・文化祭
- 11月18日・・・お菓子作り
- 12月下旬・・・お正月用フラワーアレンジメント
- 11月22日・・・外部評価

◎前回のご意見より

- ・入居者、統合失調症の方との関わりについてのご意見、助言を頂き、職員に周知をする。日々、状態が違う為職員も戸惑う事はあるが、チームで情報共有しながらご本人の思いを受け入れ、傾聴し寄り添いながら行っている。

《意見交換》

○地域包括の方より

- ・コロナ禍の為、約2年程入居者は地域の方との関わりが無かったが、今回やまとでも文化祭を予定されておられるようで機会を見て参加させていただきます。

○認知症の人と家族の会代表

- ・薬の配薬、配薬手順書について確認され、事故になる前にヒヤリハットで見つけられているのは良い

○元ご家族の方

- ・現在の面会についての確認。

施設長：条件つきでの屋外での面会をおこなっている。

Y氏より：世間的にも意識が緩んできてい、換気などの感染対策は継続すべき

施設長：感染予防、標準予防は実施していくがご家族とご利用者との接触については制限をどこまでするか難しい、コロナが入った時の感染経路が職員からか利用者からかが判断しにくい。ご利用者にとっては直接触れ合う事が一番。

Y氏より：面会の方法も色々な選択肢(リモート・ガラス越し等)があって良い、一律にすることはないが、ご家族の気持ちを受け止める事が大切、ご家族はどう生活しているかを見たい、知りたい。

K氏より：何かあった際は施設の落ち度と言われぬように、やるべきことはやっておいて欲しい。

5. その他

- ・AEDがやまとに設置されているので、近隣の方に何かあれば使って頂きたい、必要があれば職員もお手伝いをさせて頂く。